

----- (はじまり) -----

タケシ「へえー。面白い結果だなあ」

アスカ「何見てるの？」

タケシ「この前、テレビで実験経済の講義をやってたんですけど、その中の実験が面白くて…。アスカ先輩もやってみます？」

アスカ「面白そうじゃない。いいわよ」

タケシ「20人に0から100までの数字を自由に連想してもらって、平均を出します。その平均に0.7を掛けた値と近かった人に景品が当たるって実験です。簡単でしょ。先輩ならどんな数字を選びます？」

アスカ「何それ、美人投票問題じゃない」

タケシ「し、知ってるんですか!？」

アスカ「まあね。確かイギリスの経済学者のケインズが提唱したものよね」

タケシ「よ、よくご存知で…」

アスカ「自分の予想じゃなくて、他人が何を予想するかを予想することになるっていうメタ認識的な問題よね」

タケシ「そ、それじゃ、先輩は答えが分かってそうですし、この問題はなかったことに」

アスカ「ちょっと、待ってよ。この問題には答えなんてないから、自分なりに数字を選んで見ようか」

タケシ「お、恐れ入ります…」

アスカ「多分、みんなが選ぶ数字には偏りがないと仮定して、数字が0から100だから平均すると半分の50になる確率が高くなるわよね。その0.7掛けだから35か…」

タケシ「すると、35が答えということで…」

アスカ「まだよ。多分、美人投票問題を元にしてているから、みんなが35を選ぶことは想定済みよね。すると裏を読んで35に0.7を掛けた24.5

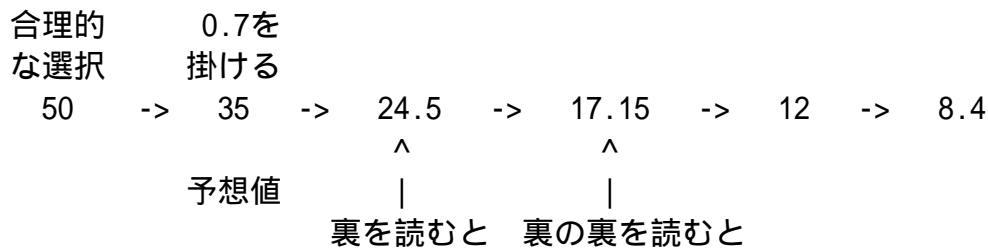
付近を選べば良さそうね」

タケシ「さ、流石ですね。先輩の言うとおりに、そんな感じの解説でした」

アスカ「でも、問題は24.5に気づいた人達が更に0.7を掛けた値を選ぶ可能性もあるわけだから、結局答えはないのよ。現実的には」

タケシ「なるほど。結局、どの数字にするんですか？」

アスカ「そうね。興味があるのはその点よ。裏を読む回数をどうするかね。裏読み1回なら24.5だし、2回なら17.5よ。図に書くとこんな感じ」



タケシ「うーん。確かにキリがないですね」

アスカ「まあ、多分、外れるでしょうけど私は35にしてみるわ。みんながどんな回答をしたのかのほうに興味があるし」

タケシ「35ですか。えっと、結果のメモがあるから見てもらえます？」

20人の被験者が選んだ数字
=====

17	45	33	38	33	37	13	49	35	35
35	48	14	42	42	35	35	35	28	24

アスカ「面白い結果ね。35を選んだ人が6人もいるんだ。意外に合理的な人たちね。で、勝者は誰？」

タケシ「平均が33.65なので、0.7を欠けると23.555で24を選んだ人が勝者でした」

アスカ「そうなんだ。私は外したけど、なるほどね…。度数分布(幹葉表示)にするとこんな感じか…」

1		347
2		48
3		3355555578
4		22589

タケシ「33から38の30台が多いですね。流石に50以上の人はいないし、みんな賢いんだな...」

アスカ「そうね。さっき計算した理論値と照らし合せると、どうなるかしら...」

=====
50 35 24.5 17.15 12

アスカ「理論値に近い値に丸めて度数をとって見たけど...。うーん」

タケシ「やたらと35のところが多いですね。みんなが50を選ぶと予想した人が35を選んで、35だと予想した人は24.5を選んでいるわけか」

アスカ「どうもみんな裏を読むところまではいかないみたい。35は合理的に考えると出てくる数字なんだけど、数字を導いたことで満足したのか、これで他の人を出し抜いたと考えたのか分からないけどね。ま、その数字を選んだ人はある意味、素直よね。私みたいに」

タケシ「えっ！先輩が素直ってことはないんじゃない...っ痛て」

アスカ「この流れはそのまま認めるところでしょ。素直なの、私は！」

タケシ「す、すみません。てっきり、17.15や12のように裏の裏の裏を読む人かと...。すると美人投票問題に必勝法はないんですか？」

アスカ「必勝法はないけど、結果からすると合理的な結論を導いた後にその裏を読むってのがいいみたいね。ま、素直な私にはできないけど...」

タケシ「そ、そうですね(だから、それはない...)」

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2014 rpn hacks! All rights reserved